

ニュースレター 11月

2021. 11. 1 発行



今月は夫婦の間取りについてお届けします。



HPのお問合せはこちらから

家づくりのコンセプトと言えば、家族みんなで仲良く暮らすというもの。でもそれだけでは夫婦関係に危機が訪れてしまうかも？
いつまでも恋人気分な円満夫婦でいるためのリフォームプランをご紹介します。

1、家族のつながりを大切に作る家づくりで忘れがちな視点



最近の住まいづくりで人気のあるのは、間仕切り壁を取り払った、ひろびろとした開放感がある間取りです。

部屋全体をひと目で見渡すことができる対面キッチン、必ず家族と顔を合わせてから2階へ上がるリビング階段など、いつもどこかに家族の気配を感じ、部屋と部屋もきっちり間仕切りではなく、あいまいな間取りが好まれています。

住宅の一次取得者は子育て世代ですから、このような家づくりの中心軸にあるのは、子どもを中心として家族みんなで仲良く

暮らすというコンセプトです。家の中のあちこちに子育てや家族の絆を深めるための工夫がなされています。しかし、そこで置き去りにされてしまいがちなのが、夫婦関係の問題です。

家のカタチが家族関係に与える影響は大きいものです。夫婦は、子どもの父と母であると同時に、男と女でもあります。

円満な夫婦関係でいるためには、やはり男と女であることを意識するような場面があってこそ。しかし家の作りが、男と女であることを許してくれない、そんな間取りが多いのです。

このような問題は話題にしにくいので、なかなか表面に出てきません。

いつもみんな一緒に仲良く暮らすというのは、もちろん素晴らしいことですが、夫婦が1人の男1人の女としていられる家かどうか、もう一度考えてみる必要があります。

2、家が妻に主婦であることばかりを求めている



様々な間取りがありますが、妻個人の居場所がある家は希少です。

夫の場合は、書斎という名目で確保されていることが多いのですが、妻の場合、多くはキッチンの隅にある家事スペースが居場所とされています。

家事スペースは確かに家事の合間にひと休みできて便利なのですが、家事をまかなう者にとっては仕事場です。

家自体が、妻に主婦であることばかりを求めている。1人の女としての居場所は無い、そんな間取りが多いのです。

女性の居場所は家事スペースと兼用であることが多い。

しかしこのことに理解がある夫はそれほど多くはありません。リフォームでよく聞くのが、「この家全部が妻のモノだから」というご主人の言葉です。しかし奥さんは「家全体が自分の居場所のようだけれど、**本当は自分だけの場所は無い**」と答える人が少なくないのです。

3、そのリフォームプランで夫婦生活は大丈夫？



開放感があり過ぎるお風呂も夫婦には落ち着かないことも。

男と女である夫婦を1つの単位として考えた場合、2人だけの居場所は主寝室や子供が寝た後のリビングなどになります。

間仕切りが無い開放感がある間取りは、家族の絆は深まりますが、夫婦が男と女に戻って時間を過ごすには、子供の存在が気になってしまいます。

ガラス張りのお風呂もおしゃれですが、なんだか落ち着きません。

他にも主寝室が子ども部屋と隣接している、主寝室がトイレやバスルームから遠い、もしくは子ども部屋の前を通らないと水まわりに行けないというような間取りは、大切な夫婦だけの時間をないがしろにしてしまう可能性があります。

夫婦は父と母であると共に、男と女でもあるということを忘れずにいたいものです。さてそのリフォームプランで夫婦の時間が過ごせるでしょうか？

4、小さなリフォームの工夫で夫婦の時間は変わる



一組の男と女のための家づくりという視点も忘れずに。

子どもたちが寝た後、男と女に戻る余裕を生み出すリビング、夫婦だけの生活を誰にも邪魔されずにゆったりとできる寝室など、夫婦2人だけの時間を過ごせるリフォームプランを考えてみましょう。

大掛かりなリフォームをしなくても、小さな心遣いで夫婦の時間は変わります。実際に行った夫婦のためのリフォームをご紹介します。

【事例-1】

寝室のドアを鍵のついた防音ドアにリフォームしたら、精神的に落ち着くことができ、夫婦の時間が充実した。

【事例-2】

寝室にホームシアターを設置。華やかな壁紙に張り替えるなど内装に遊び心を加えるリフォームを行い、夫婦2人だけのプライベートスペースとした。

5、恥ずかしがらず当たり前のこととしてプランに取り入れる

他にも夫婦の寝室を完全防音にしたケースもあります。このような要望は言いにくいという方もいらっしゃると思いますが、住まいづくりに携わるものは当たり前のこととして受け止めます。ぜひ安心してご相談ください。

リフォームを考える際には、家族のためだけでなく、1組の男と女のための家づくりという視点も持って、いつまでも恋人のような円満夫婦を目指しましょう。

又、その他のリフォームもありますので是非ご相談ください。

土木建築
リフォーム

本社 海津市海津町高須町720-1
0584-53-0174
リフォーム 海津市海津町馬目371-3 (コーポ日新1F)
0120-202-988
E-mail info@watanabegumi-kaizu.com
URL http://www.watanabegumi-kaizu.com/

株式会社 渡辺組

*毎月皆様の暮らしのお役立ち情報をお届けしています。何かお気付きの事や知りたい事などございましたらいつでもご遠慮なくお申し付け下さい。皆様のご意見ご感想を元にお役に立てれば幸いです。